

感情・人格心理学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》百々 尚美 (心理科学部 ndodo@hoku-i-ryo-u.ac.jp)

【概要】

2年次に学習した「感情・人格心理学」の知識を前提とし、「感情(情動)」のメカニズムと機能に焦点を絞って専門的知識を深める科目である。

感情の発生機序に関する古典的・現代的理論、脳神経科学的基盤、認知(記憶・判断)との相互作用、そして臨床実践に不可欠な感情調節や共感のメカニズムについて、最新の知見を含めて学習する。

本講義は、公認心理師試験出題基準(ブループリント)の大項目「感情及び人格」「脳・神経の働き」「健康・医療に関する心理学」等に対応する。

【学修目標】

感情心理学に関する理論および臨床的応用に関する専門的知識を習得する。

感情に関する主要な理論(起源説、基本感情説、次元説、構成主義など)と生理学的機序を説明できる。

感情が認知(記憶、判断、意思決定)や行動に及ぼす影響について、具体的なモデルを用いて説明できる。

感情調節のメカニズムを理解し、メンタルヘルスや社会的適応との関連を考察できる。

ポジティブ心理学や感情知性(EQ)の視点を含め、感情と人格の関連を統合的に理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。